

友の会だより

No.64
2021.7

茨城県陶芸美術館友の会

展覧会
案内

土イジリ

会期：2021年7月17日(土)～9月26日(日)

主催：茨城県陶芸美術館 後援：笠間市、茨城新聞社

休館日：毎週月曜日（ただし8月9日、16日、9月20日は開館）、8月10日(火)、9月21日(火)

陶磁器の材料である粘土の最大の特長は、可塑性といわれる「ものをカタチづくる」性質です。本展では、「土イジリ」をキーワードに、「どろどろ」など、様々に変化する土の状態に着目します。作家それぞれが土という素材に向き合い、どのようにして作品に生かしたか、「ちぎる」「よじる」「切る」「積む」「あぶる」「いぶす」「けずる」「組み上げる」などの観点から、現代陶芸の「カタチ」を紹介します。

また、写真パネルや映像機器を用い、制作の工程を併せて紹介したり、展示室内や館入口前の屋外などに大型作品を展示したりして、陶芸を少しでも「分かりやすく、楽しく」鑑賞していただけるように展示を工夫して紹介いたします。



▲齋藤敏寿 archetype91021-93100 (2019年 個人蔵)



▲加藤 委 サンカクノココロ 2013
(2013年 当館蔵)



▲佐藤 雅之 ^{みずのほね}水の骨 (2006年 当館蔵)



▲稲崎 栄利子 ^{こだま}木霊 (2011年 当館蔵)

● 展覧会関連催事のご案内

* 詳細は、チラシや当館ウェブサイト等をご覧ください。

◆ ガラリートーク (予約不要 ただし先着15名)

※ 新型コロナウイルス感染防止対策のため人数を制限いたします。

担当学芸員が展覧会をご案内いたします。

日時：7月24日(土)、8月28日(土) 各日とも13時30分から

会場：当館地下1階 企画展示室

参加費：無料 (観覧料にてご聴講いただけます。)

* 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後の状況により予告なくイベント等を中止・延期する場合がございます。変更の場合には、当館ウェブサイトにてお知らせいたします。

茨城県陶芸美術館ホームページ <http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

異文化の中で作り上げた碧彩釉

井上英基さんを訪ねて（5月19日）

深い青緑色を発色する「碧彩釉」をつかって作品制作に取り組んでいる井上さん（笠間市在住）の工房をお尋ねしました。



ご出身は

水戸市です。

陶芸の道に進まれた経緯についてお聞かせください。

小さい頃から、父（陶芸家 井上壽博氏）の仕事を見ていましたが、果たして「自分にできるか？」という思いでした。私にとって父の存在はとても大きく、自分がこの道を選んだとしたら、親の顔を潰さないでできるかと自問自答していました。父は無理矢理やらせたいという思いはなかったようです。18才の頃から、父の元で修業を始めました。24才の時、父とドイツに行く機会があり、カバン持ちとして同行しました。その時、ドイツ陶芸界の重鎮ベンドリン・シュタール氏と出会いました。父が、私の弟子入りを依頼し、応諾していただきました。帰国後、現在の県立笠間陶芸大学校でロクロの技術と釉薬の知識を学んだ後、1999年、29才の時、正式にベンドリン・シュタール氏に弟子入りしました。

作品作りについてお聞かせ下さい。

ドイツでは、ロクロの挽き方など日本とは違う部分もありましたが、日本流と比較しながら異文化の感触を肌身に刻んでいました。現地では、器の成形をはじめ、デリケートな釉掛けまでの工程を任せられました。ドイツでは青緑色を出せる釉薬を研究し作り出しました。帰国後、「あお」とも「みどり」とも読めるこの釉薬を「碧彩釉」（へきさいゆう）と名づけました。その釉薬は私の陶芸人生の飛躍の色となりました。そして、笠間焼きをドイツに紹介する際の親善の役割を果たしてくれています。碧彩釉は日本でも新鮮に受け入れられ、2015年第23回日本陶芸展に応募した「碧彩鉢」で、大賞「桂宮賜杯」をいただきました。出品する前に、父が「お前の代表作になる」と言ってくれた作品でした。その時の父の喜びの顔が今でも忘れられません。改めて父の作品を見る目の確かさを感じました。

これからの方向性についてお聞かせ下さい。

ロクロが上手になりたいです。一発で決められた物の良さを出したいです。手を加えれば加えるほど、自分ではダメになると思っています。釉薬もさらに工夫したいと思っています。自然の風景を表現できているか？ 釉薬の特徴を活かしているかなど、奥深い感覚を大事にしていきたいと思っています。色の重ね掛けもやっていますが、緑色は焼き加減で色がとぼと黒くなります。計算された色とばしや二度焼きもやっています。釉薬がとぼと仕上がりの色が違ってきます。色に渋みが出ます。作品作りをもっと深めたいと思っています。

プロフィール

- 1970 水戸市生まれ
- 1999 ベンドリン・シュタール氏に師事（渡独）
- 2007 独日クラフト展出品
- 2012 JR常磐線岩間駅舎陶壁制作
- 2015 第23回 日本陶芸展
「碧彩鉢」大賞・桂宮賜杯
- 2016 G7茨城・つくば科学技術大臣会合会場に作品を展示
- 2017 JR東日本 豪華寝台列車「四季島」の湯飲制作
- 2018 つくば銀行 第20回ギャラリー企画展
秋篠宮同妃両陛下に献上品制作



碧彩鉢 2015



春濤



春濤(2)



秋冬



雪渓

対談を終えて

作品を見ていて、その繊細なフォルムに心が打たれました。口の広がりや高台とのバランス。磁器を思わせるような滑らかな風合い。流れるようなグラデーション。計算された色使いの中に自然美を感じました。

ヨーロッパ磁器絵付け講座

友の会主催事業の絵付け講座が、マリア・テレサ・ルーディ横田先生の丁寧な助言・指導のもと、3月20日(土)・26日(金)の2日間の日程で行われました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため実施が危ぶまれましたが、感染防止対策を講じながら実施することができました。昨年に続き皿にキノコを絵付けしました。参加者からは、楽しみにしていたので実施できてとてもよかったとの声が届きました。楽しい2日間を過ごすことができました。出来上がった作品は、陶芸美術館友の会コーナーに展示されています。お越しの際はご覧ください。なお、令和3年度は陶板に絵付けをします。初心者大歓迎ですのでぜひご応募ください。



友の会からのお知らせ

6月4日(金)に、理事会・代議員会を開催し、令和2年度の事業報告・収支決算が承認されるとともに、令和3年度の事業計画と収支予算が決まりました。各事業へのたくさんの参加をお待ちしています。

令和2年度事業報告

●会報「友の会だより」の発行 No.61, 62, 63発行

つくる

●ヨーロッパ磁器絵付け講座

期 日：3月20日(土) 3月26日(金)
講 師：マリア・テレサ・ルーディ 横田 先生
参 加 者：12人

●笠間工芸の丘各種体験：割引参加(通年)

きく

●企画展関連各種講演会参加者への記念品贈呈

みる

●国内研修視察

新型コロナウイルス感染症防止のため実施せず

●日帰り研修

新型コロナウイルス感染症防止のため実施せず

呈茶会

●企画展関連茶会

新型コロナウイルス感染症防止のため実施せず

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いくつかの事業を中止とさせていただきます。令和3年度につきましては、ワクチン接種が進み状況が好転するとの予想から事業実施の方向で準備をしています。多くの会員の方の参加をお待ちしています。なお、今後の状況によっては中止とさせていただきます場合があります。

令和3年度事業計画

●会報「友の会だより」の発行 No.64, 65, 66発行

つくる

●ヨーロッパ磁器絵付け講座

期 日：9月3日(金) 9月11日(土)
講 師：マリア・テレサ・ルーディ 横田 先生
場 所：陶芸美術館研修室
募集人数：16人

●笠間工芸の丘の各種体験への会員割引参加(通年)

きく

●各企画展・特別展開催中に実施する講演会に参加した会員への記念グッズの贈呈

みる

●国内研修視察 ※詳細は会報No65(10月)発行時に

期 日：12月1日(水)～12月3日(金)
視 察 先：奈良 伊賀 信楽方面
募集人数：30人

●日帰り研修 ※詳細は会報No66(2月)発行時に

期 日：3月4日(金)
視 察 先：鎌倉方面(鎌倉文学館 吉兆庵美術館)
参 加 費：10,000円程度
募集人数：40人

呈茶会

●企画展関連茶会

期 日：11月13日(土) 茨城県民の日
企 画 展：「開館20周年記念事業 笠間陶芸大賞展」
席 主：海老澤 宗香 氏(裏千家)
会 場：陶芸美術館地下オープンギャラリー

理事会・代議員会では、任期満了に伴う役員改選が行われました。新役員は次のとおりです。

役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名
顧 問	関 実枝子	理 事	稲葉 節生	監 事	高崎せつ子	代議員	桜井 尚子
会 長	塙 東男	理 事	岡野 安次	代議員	植田 文弥	代議員	説田 和彦
副会長	金杉 春樹	理 事	武井江津子	代議員	檜崎 里子	代議員	山崎 雅宏
副会長	増渕 浩二	理 事	幡谷 浩史	代議員	岡田 卓也		
理 事	飯田 義之	監 事	富永 重己	代議員	酒井 芳樹		

(任期は令和5年6月3日までの2年間)



良い品をそろえてご来店をお待ちしています

友の会特約店のご紹介

アトリエ・フラスカ	0296-72-9322
笠間工芸の丘	0296-70-1313
● 6月23日(水)～8月1日(日)	沖縄展
● 8月4日(水)～8月29日(日)	Naru紙粘土展
● 9月1日(水)～9月20日(月)	さがわはるな展
● 9月8日(水)～9月26日(日)	坂場圭十展
笠間民芸	0296-72-9280
かつら陶芸	0296-72-6688
ギャラリー桜	0296-72-0803
ギャラリー爽風SOHO	0296-72-9121
ギャラリー舞台	0296-73-0700
笠間焼窯元共販センター	0296-72-5665
きらら館	0296-72-3109
● 6月29日(火)～7月11日(日)	外山亜基雄・高橋協子 二人展
● 7月13日(火)～7月25日(日)	野村晃子 作陶展
● 7月28日(水)～8月15日(日)	ねこ展17th
● 8月17日(火)～8月29日(日)	いとうみほ 作陶展
● 8月31日(火)～9月12日(日)	田山健司 作陶展
● 9月14日(火)～9月26日(日)	杉本遊炫・田中千裕 二人展
向山窯	0296-72-0194
丹野陶房	0296-72-4028
陶芸館	0296-72-6650

ギャラリー陶正	0296-72-4007
東風舎	0296-72-5205
無限堂	0296-72-1695
やまさき陶苑	0296-72-6865
涼	0296-72-0712
ミュージアムショップ(館内)	0296-72-7105

● 7月17日(土)～9月26日(日)
夏企画「土イジリ」関連商品販売

レストラン「風の丘」(館内)	0296-72-0197
----------------	--------------

各店舗で買物をされる際、会員証を提示していただくと、陶器が10%割引となります。(一部除外品があります。)笠間工芸の丘は体験のみ対象です。レストラン「風の丘」は飲み物サービスとなります。

友の会からのお知らせ

会員募集

茨城県陶芸美術館友の会では、会員を随時募集しています。陶芸が好き、陶芸についてもっと知りたい、体験をしたい・・・そんなあなたの期待に応えます。

年会費 3,000円(夫婦会員は2人で5,000円)

- 特典1** 常設展が、何度でも無料観覧できます。
- 特典2** 企画展が年2回まで無料で観覧できます。
- 特典3** 会報の無料配付(年3回)を受けられます。
- 特典4** 特約店において、陶磁器等の割引が受けられます。
- 特典5** 友の会主催の各種事業に参加できます。

お問合せは茨城県陶芸美術館友の会事務局までお願いします。
茨城県陶芸美術館友の会事務局(茨城県陶芸美術館内)
電話 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012

編集後記

新型コロナウイルスの接種が進められているニュースが報じられています。感染がおさまることを誰しもが願っていることと思います。友の会でも今年度は事業を例年どおりに計画しました。皆様の参加をお待ちしております。

友の会だより No.64

発行：令和3年7月1日
編集・発行：茨城県陶芸美術館友の会
〒309-1611 笠間市笠間2345
電話 0296-70-0011 FAX 0296-70-0012
編集委員：小栗 和子 鈴木 充